

10/15

『小学校伝統芸能教室』開催

10月15日(火) 小学校において県民芸術祭参加事業「高山小学校伝統芸能教室」が開催されました。

今年で15回目になる伝統芸能教室は、尻高入形錦松会が所属する「ぐんま入形芝居連絡協議会」が(財)群馬県教育文化事業団より委託され、小・中学生に地域の伝統芸能に興味・関心をもってもらうために実施している教室です。

希望した児童5名による「伽羅先代萩 政岡忠義の段」の実演体験が行われ、全校児童の前で練習の成果を堂々と発表しました。また、今年度は、先生が手作りした絵によ



る説明が実演前にあり、内容を深めることが出来た様子です。

保護者をはじめ村民の方々、デイサービス利用の大勢の方々、そして高山中学2年生も音楽の授業の一環として鑑賞され、賑やかな教室になりました。

児童の実演の後には、入形操作・三味線・義太夫等に直接触れられる体験学習タイムを設け、錦松会座員や実演を終えた児童に操作や弾き方等の指導や説明をしていただきました。

その後、錦松会座員から「日高川入相花王 渡し場の段」の上演を見せていただきました。

10/16~11/8

11月10日を目指して 猛練習

11月10日(日)の『新田宿復活祭』において、渋川市の角田氏から寄贈された山車の巡行に伴うお囃子の練習が、関田地区の皆様のご協力により、10月16日から11月8日までの間(9日間の予定)で練習が開催されています。

練習2日目に関田公民館にお邪魔してみました。お囃子手の募集で、小学生4人が関田地区の子どもたちに加わり締太鼓をたたき、竹笛や鐘にも初めての方が何人も参加して練習に励んでいました。

お囃子は三丁目と五丁目の2種類があり、1回目ではほとんどリズムを覚え、2回目から形ができるようにと、僅かな時間しかないため、子どもたちも真剣なまなざしで太鼓をたたき、関田地区の皆さんも一生懸命指導に励んでいました。

『新田宿復活祭』には、この子どもたちの晴れ姿を是非見に来てください。

